

野増第一沢・第二沢（仮称）砂防事業説明会 主な質問と回答

日 時：令和7年12月11日（木） 18:00 ～ 19:10
場 所：野増地域防災コミュニティセンター
参加者数：15名

質問と回答（順不同）

Q1. 工事中は大型車がどのくらい通るのか。

A1. 砂防えん堤工事の主要工種は土工とコンクリート工です。土工作業では1日当たり最大220m³/日の土砂を掘削し搬出する予定です。これをダンプトラックに換算すると約40台/日に相当します。

Q2. 新たに道路をつくる予定はあるのか。

A2. 道路の新設はありませんが、施設の維持管理用の通路は設置します。

Q3. 野増地区の他の沢の対策の予定は。

A3. 基本計画では86渓流を優先度に応じた分類を行っており、順次、事業を進めることとしております。なお具体の事業工程は、先行する事業進捗に応じて適宜、決定しております。

Q4. H25の土砂災害で野増地区への被害が無かった理由は。

A4. 大金沢と野増沢では地形が大きく異なり、大金沢では沢状地形が不明瞭な所が崩れて土石流が発生しています。この地形の違いなどが、被害状況が異なる要因だと考えますが、正確なところは解っておりません。

Q5. チンチョウガー周辺に大島固有種のサワガニが生息していることを確認したので、地下水調査は継続してほしい。また、工事で森林を伐採すると地表が乾燥し、地下水や生態への影響が懸念されるため、工事後の環境対策として植林をやってほしい。

A5. チンチョウガーの供給源である宙水由来の湧水は狭い範囲からなり、今回の調査により、えん堤による影響はないことを確認しています。

伐採については必要最小限の範囲で行い、自然環境への影響を抑えるよう配慮します。また施工前には環境調査を行い、希少生物等の保全に努めます。

Q6. ダムで水も止めるのか。漁業への影響を心配している。土砂を流し、山の栄養分を海へ流すようにしてほしい。

A6. 砂防えん堤には水抜き穴が設置されており、水を止めることはありません。また透過型えん堤では洪水時の土石流は止めますが、平常時の中小出水では土砂は水とともに海へ流します。一般的な砂防事業においても、溪流から海岸までの連続性に配慮し、施設配置が検討されております。